

資料2-2

令和4年度流域治水プロジェクト
フォローアップ

令和 4 年度 五十鈴川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

日向土木事務所	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	洪水氾濫対策
	【小項目】対策メニュー	河道掘削・樹木伐採

【概要】
 ○土砂堆積等による流下阻害で洪水氾濫が生じないように、樹木伐採や河道掘削を実施した。
 ○次年度以降も、他の河川も含め5か年加速化対策において引き続き実施していく。

R3年度五十鈴川 河道掘削実績			
事業費	約2.7億円	河道掘削	約5.0万m ³



日向土木事務所	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	洪水氾濫対策
	【小項目】対策メニュー	河道掘削・樹木伐採

五十鈴川(美郷町北郷)



令和 4 年度 五十鈴川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

日向土木事務所	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	洪水氾濫対策
	【小項目】対策メニュー	令和 4 年 9 月台風 1 4 号災害対策

【概要】

- 五十鈴川水系では、令和4年台風14号により河川災が11件発生。
- 早期復旧に努めていく。

五十鈴川(門川町)



五十鈴川(美郷町北郷)



日向土木事務所	【大項目】区分	3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	リスク情報の提供・充実
	【小項目】対策メニュー	河川監視カメラの設置

【概要】

- 五十鈴川河口部において、令和4年度に河川監視カメラを設置した。
- 河川の状況把握により、水防活動や避難活動に活用していく。

五十鈴川河口監視カメラ



令和 4 年度 五十鈴川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

東白杵農林振興局	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	ほ場整備・用排水路整備



整備前



整備後

【概要】

美郷町北郷の長野地区において、3団地のほ場整備を実施した。

長野地区：2.07ha(3団地合計)

【目的】

農地の大区画により生産コストの削減を図り、農地の持つ雨水貯留機能の発揮を目指す。

【効果等】

農地の区画拡大を実施する中で、排水柵や排水路を整備し、水田が持つ貯留機能を向上させることができた。

東白杵農林振興局 (地域活動組織)	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	多面的機能支払制度等の活用



【概要】

農業・農村の多面的な機能の維持・発揮を図るため、水路の草刈り・土砂上げ・補修や、遊休農地の解消などの地域活動(53組織)を支援した。

【目的】

水路の適正な管理や、遊休農地の発生防止対策等で農地保全を図り、農地の持つ雨水貯留機能の発揮を目指す。

【効果等】

上記活動により、農地として利用され、雨水貯留機能を維持することができた。

また、地域住民と一体となった活動により、農地・農業用施設の持つ役割を、広く周知することができた。

令和4年度 五十鈴川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

門川町	【大項目】区分	3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	避難体制等の強化
	【小項目】対策メニュー	防災士スキルアップ研修会・防災講演会の開催



防災士スキルアップ研修会・防災講演会の開催

令和5年2月11日に防災士スキルアップ研修会及び防災講演会を開催。

防災士スキルアップ研修会においては、避難所運営訓練（HUG）を行い、地域で避難所運営を行う際の注意点等を確認した。

また、防災講演会については、熊本県より気象予報士を講師に迎え、風水害を始めとする災害に対する避難行動についての講演を行って頂き、町民の防災意識の向上を図った。

門川町	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	洪水氾濫対策
	【小項目】対策メニュー	河道掘削、樹木伐採

【概要】

○土砂堆積等による流下阻害で洪水氾濫が生じないよう、樹木伐採や河道掘削を実施した。

R4年度実績			
実施河川数	3河川	樹木伐採	約0千㎡
事業費	約2.5百万円	河道掘削	約500㎡



令和 4 年度 五十鈴川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

美郷町	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	ほ場整備

【概要】

○洪水氾濫を減らすため、ほ場を整備し流水の貯留機能の拡大を実施した。

R4年度実績			
実施箇所数	3箇所	整備面積	1.68ha
事業費	約5.7億円		



美郷町	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	用水路整備

【概要】

○洪水氾濫を減らすため、用水路を整備し流水の貯留機能の拡大を実施した。

R4年度実績			
実施箇所数	1箇所	整備延長	173m
事業費	約16.6億円		



令和 4 年度 五十鈴川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

美郷町	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	森林整備事業
	【小項目】対策メニュー	再造林、保育（除間伐等）

【概要】

再造林、保育（除間伐等）の推進により、森林資源を造成し、土砂流出防止機能や保水機能の確保、向上を図った。

森林整備状況（令和 4 年度予定）

事業区分	事業内容	面積
森林整備	新植	210 ha
	除間伐	150 ha
	計	360 ha

美郷町の森林面積： 40,164 ha

うち民有林面積： 39,100 ha



美郷町 活動組織	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	雨水貯留機能の強化
	【小項目】対策メニュー	日本型直接支払制度を活用した維持管理による被害の軽減

【概要】

用排水路の適正な維持管理、周辺林地の管理、水田が持つ雨水貯留機能の向上により周辺地域の被害の軽減を図った。

日本型直接支払制度	協定数
中山間地域等直接支払制度	40
多面的機能支払制度	34
計	74



令和4年度 五十鈴川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

森林整備センター	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	水源林造成事業

・水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業です。

・水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁殖を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。

令和4年度実績				
植栽	下刈り	除伐	間伐	作業道
16ha	20ha	49ha	19ha	3,000m



所属名を記載	【大項目】区分	プルダウンで選択してください
	【中項目】対策内容	
	【小項目】対策メニュー	

令和4年度 塩見川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

日向土木事務所	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	洪水氾濫対策
	【小項目】対策メニュー	河道掘削・樹木伐採

【概要】
 ○土砂堆積等による流下阻害で洪水氾濫が生じないように、樹木伐採や河道掘削を実施した。
 ○次年度以降も、他の河川も含め5か年加速化対策において引き続き実施していく。

R4年度塩見川水系 河道掘削実績			
事業費	約4.0百万円	河道掘削	約1.0km ³



日向土木事務所	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	土砂災害対策
	【小項目】対策メニュー	砂防堰堤の整備

【概要】
 ○西川内谷川において、土砂流出による災害から人命を守るため、砂防堰堤を整備中。

西川内谷川 砂防堰堤の整備



令和 4 年度 塩見川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

東白杵農林振興局 (地域活動組織)	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	多面的機能支払制度等の活用



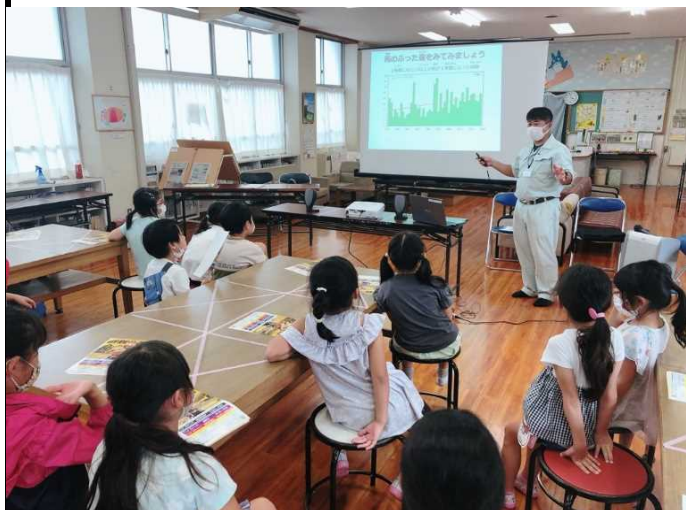
【概要】
 農業・農村の多面的な機能の維持・発揮を図るため、水路の草刈り・土砂上げ・補修や、遊休農地の解消などの地域活動(53組織)を支援した。

【目的】
 水路の適正な管理や、遊休農地の発生防止対策等で農地保全を図り、農地の持つ雨水貯留機能の発揮を目指す。

【効果等】
 上記活動により、農地として利用され、雨水貯留機能を維持することができた。
 また、地域住民と一体となった活動により、農地・農業用施設の持つ役割を、広く周知することができた。

令和 4 年度 塩見川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

日向市防災推進課	【大項目】区分	3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	防災学習・啓発の推進
	【小項目】対策メニュー	ハザードマップを活用した防災学習の実施



【目的】

大雨の時の登下校時など、風水害から身を守るための心構え

【対象】

しおみっ子放課後子ども教室利用児童

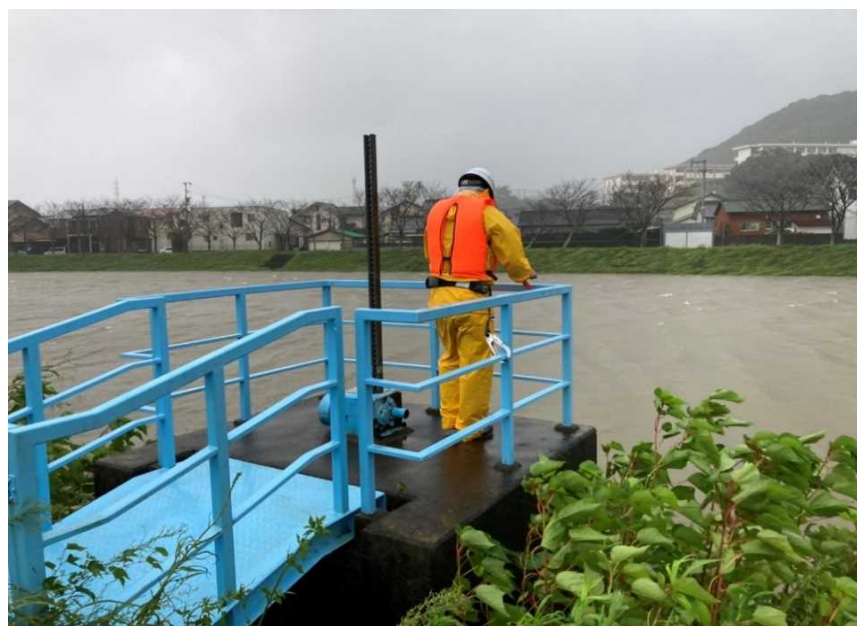
【概要】

放課後子ども教室の一環で、DVD鑑賞によりわかりやすく大雨や雷による被害について説明するとともにハザードマップを活用し、雨の日の安全な通学路、避難所の確認を行った。

【効果】

近年の大雨の状況や、実際に登下校時に使っている通学路で説明することにより、より身近な災害として児童自ら考える機会となった。

日向市警防課	【大項目】区分	3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	河川監視及び水門の管理・開閉作業
	【小項目】対策メニュー	河川水位の定期的な監視



（概要）

ライフジャケットを着装し、安全帯のカラビナを手ずりに決着するなど、安全に配慮しながら、河川水位を定期的に監視する。

（目的）

水門監視受託者である消防団は、常に、危険を伴いながら河川を監視し、水位の情報を早期に住民に知らせる。

（効果）

住民の生命、身体及び財産を水害から守る。

令和 4 年度 塩見川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

日向市警防課	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	消防ポンプ車で内水を汲み上げ河川に放流
	【小項目】対策メニュー	内水に溜まった雨水の水位を下げる



(概要)

消防ポンプ車の吸管で、内水に溜まった雨水を汲み上げ、河川に放流する。

(目的)

河川の水位が内水よりも高い場合、水門を閉鎖せざるを得ず、溜まった雨水などの内水を、河川に放流し水位の上昇を防ぐ。

(効果)

消防ポンプ車で内水を汲み上げ、河川に放流し内水の水位を下げることで、住民の安心、安全を確保する。

日向市建設課	【大項目】区分	3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	土地の水災害リスク情報の充実
	【小項目】対策メニュー	河川パトロールによる水災害リスク情報の把握

○普通河川のパトロールについては、水災害によるリスクの軽減を図り、情報を把握するため、年1回の通常点検、異常気象時や全国的な課題や国・県からの指導等に応じて実施する緊急点検を行っている。

普通河川点検内容一覧

ランク	本数	延長 (km)	点検方法	
			頻度	時期
A(重要)	43	71.9	年1回	出水期前(5月下旬~6月上旬)
B(準重要)	40	50.8	年1回	台風接近時期前(6月~8月)
C(その他)	38	66.2	年1回	年間を通じて(9月~3月)
計	121	188.9		

【対象河川】▼塩見川水系の普通河川(東川ほか7河川)



令和4年度 塩見川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

森林整備センター	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	水源林造成事業

・水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業です。

・水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁殖を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。

令和4年度実績				
植栽	下刈り	除伐	間伐	作業道
			13ha	



所属名を記載	【大項目】区分	プルダウンで選択してください
	【中項目】対策内容	
	【小項目】対策メニュー	

令和 4 年度 耳川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

日向土木事務所	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	洪水氾濫対策
	【小項目】対策メニュー	河道掘削・樹木伐採

【概要】

- 土砂堆積等による流下阻害で洪水氾濫が生じないように、樹木伐採や河道掘削を実施した。
- 次年度以降も、他の河川も含め5か年加速化対策において引き続き実施していく。

R4年度耳川水系 河道掘削実績			
事業費	約4.9億円	河道掘削	約8.8万m ³

耳川



実施前



耳川



実施後

日向土木事務所	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	洪水氾濫対策
	【小項目】対策メニュー	福瀬大橋橋梁架替、幸脇地区宅地嵩上げ工事

【概要】

- 耳川福瀬大橋の架替を、令和4年に工事着手し、下部工施工中。
- 幸脇地区において宅地嵩上げ工事を実施中。



福瀬大橋橋梁架替

令和 4 年度 耳川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

日向土木事務所	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	洪水氾濫対策
	【小項目】対策メニュー	令和 4 年 9 月台風 1 4 号災害対策

【概要】

- 耳川水系では、令和4年台風14号により河川災が74件発生。
- 早期復旧に努めていく。



美郷町西郷 鳥の巣地区

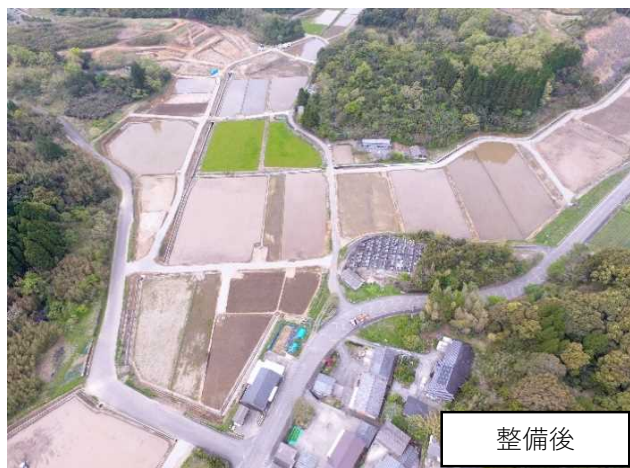


日向市東郷 切瀬地区

所属名を記載	【大項目】区分	プルダウンで選択してください
	【中項目】対策内容	
	【小項目】対策メニュー	

令和 4 年度 耳川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

東白杵農林振興局	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	ほ場整備・用排水路整備



整備後

【概要】
日向市鵜毛・靱木地区において、ほ場整備を実施した。

鵜毛地区：2.60ha

【目的】
農地の大区画により生産コストの削減を図り、農地の持つ雨水貯留機能の発揮を目指す。

【効果等】
農地の区画拡大を実施する中で、排水柵や排水路を整備し、水田が持つ貯留機能を向上させることができた。

東白杵農林振興局 (地域活動組織)	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	多面的機能支払制度等の活用



【概要】
農業・農村の多面的な機能の維持・発揮を図るため、水路の草刈り・土砂上げ・補修や、遊休農地の解消などの地域活動(53組織)を支援した。

【目的】
水路の適正な管理や、遊休農地の発生防止対策等で農地保全を図り、農地の持つ雨水貯留機能の発揮を目指す。

【効果等】
上記活動により、農地として利用され、雨水貯留機能を維持することができた。
また、地域住民と一体となった活動により、農地・農業用施設の持つ役割を、広く周知することができた。

日向市防災推進課	【大項目】区分	3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	防災学習・啓発の推進
	【小項目】対策メニュー	ハザードマップを活用した防災学習の支援

ù , pr = " { 5 Z£ ^ œ@A

日向市防災推進課	【大項目】区分	3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	リスク情報の提供充実
	【小項目】対策メニュー	マイ防災マップづくりの推進

DIG

令和 4 年度 耳川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

日向市建設課	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	洪水氾濫対策
	【小項目】対策メニュー	河道に支障となる草木や堆積土砂等の撤去

○河川パトロールにおいて、河道に支障となる草木等があれば、水災害のリスクを未然に防ぐため、撤去を行う。



日向市建設課	【大項目】区分	3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	土地の水災害リスク情報の充実
	【小項目】対策メニュー	河川パトロールによる水災害リスク情報の把握

○普通河川のパトロールについては、水災害によるリスクの軽減を図り、情報を把握するため、年1回の通常点検、異常気象時や全国的な課題や国・県からの指導等に応じて実施する緊急点検を行っている。

普通河川点検内容一覧

ランク	本数	延長 (km)	点検方法	
			頻度	時期
A (重要)	43	71.9	年 1 回	出水期前 (5 月下旬～6 月上旬)
B (準重要)	40	50.8	年 1 回	台風接近時期前 (6 月～8 月)
C (その他)	38	66.2	年 1 回	年間を通じて (9 月～3 月)
計	121	188.9		

【対象河川】 ▼耳川水系の普通河川 (千鳥川ほか 25 河川)



令和 4 年度 耳川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

美郷町	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	洪水氾濫対策
	【小項目】対策メニュー	河道掘削

【概要】
 ○土砂堆積等による流下阻害で洪水氾濫が生じないよう、河道掘削を実施した。

R4年度実績			
実施河川数	1 河川	樹木伐採	
事業費	5.2百円	河道掘削	4,331m ³



所属名を記載	【大項目】区分	プルダウンで選択してください
	【中項目】対策内容	
	【小項目】対策メニュー	

令和 4 年度 耳川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

美郷町	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	森林整備事業
	【小項目】対策メニュー	再造林、保育（除間伐等）

【概要】

再造林、保育（除間伐等）の推進により、森林資源を造成し、土砂流出防止機能や保水機能の確保、向上を図った。

森林整備状況（令和 4 年度予定）

事業区分	事業内容	面積
森林整備	新植	210 ha
	除間伐	150 ha
	計	360 ha

美郷町の森林面積： 40,164 ha

うち民有林面積： 39,100 ha



美郷町 活動組織	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	雨水貯留機能の強化
	【小項目】対策メニュー	日本型直接支払制度を活用した維持管理による被害の軽減

【概要】

用排水路の適正な維持管理、周辺林地の管理、水田が持つ雨水貯留機能の向上により周辺地域の被害の軽減を図った。

日本型直接支払制度	協定数
中山間地域等直接支払制度	40
多面的機能支払制度	34
計	74



令和 4 年度 耳川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

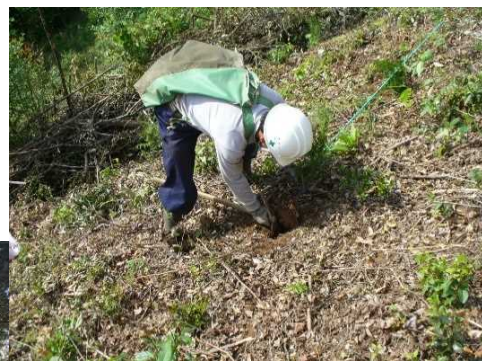
諸塚村	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯水機能の向上
	【小項目】対策メニュー	森林整備（下刈り、間伐等）

○森林が持つ水源涵養機能等を発揮させるため、計画的に間伐や下刈り等の適切な森林整備を実施する。



下刈り作業

間伐作業



植付作業

諸塚村	【大項目】区分	3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	避難体制等の強化
	【小項目】対策メニュー	ハザードマップを活用した啓発、防災訓練の支援等

○災害危険箇所の調査や防災訓練等の実施により避難体制の強化や地域の防災力の向上を図る。



危険箇所調査

防災訓練



土砂災害防止講座

令和4年度 耳川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

椎葉村	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	農地保全活動、造林事業、間伐促進事業、治山堰堤事

【概要】

- 雨水貯留機能の向上のために農地保全を実施した。
- 林地崩壊防止、雨水貯留機能向上のために造林・間伐・治山事業を実施した。

R4年度実績					
農地保全	0	造林・間伐事業	110.2ha	治山事業	3箇所
事業費	0	事業費	21,038千円	事業費	66,174千円



造林事業



間伐事業



治山 (完成予定)

椎葉村	【大項目】区分	3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	避難体制等の強化
	【小項目】対策メニュー	ハザードマップを活用した啓発、防災訓練の支援 等

【概要】

毎年、村内1公民館を重点地区として村内全体で防災訓練を実施している。台風襲来による風水害をメインとして避難誘導や情報収集、通信訓練から救助や救急対応までを自衛隊や県の関係機関を交えて実施している。

【目的】

地域住民の情報収集から避難誘導、通信訓練を習熟し、災害対策本部との連携強化や地域防災力の向上を目的に実施している。

【効果等】

令和4年度は仲塔地区を重点地域として防災訓練を実施したが、災害時の住民の把握や避難誘導の方法等を確認できた。

災害時の通信訓練を実施したことで台風14号襲来時もスムーズに使用することが出来た。



令和 4 年度 耳川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

宮崎北部森林管理署	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	治山ダム

【概要】

○土砂流出軽減のため、谷止工及び流路工を設置した。

R4年度実績

実施数 2箇所

事業費 約0.7億円



宮崎北部森林管理署	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	森林の保全・整備

【概要】

○土砂流出軽減のため、森林整備事業(間伐・下刈・植付)を実施した。

R4年度実績

実施数 152ha

事業費 約1.3億円



令和4年度 耳川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

森林整備センター	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	水源林造成事業

・水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業です。

・水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁殖を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。

令和4年度実績				
植栽	下刈り	除伐	間伐	作業道
17ha	154ha	14ha	49ha	4,950m



所属名を記載	【大項目】区分	プルダウンで選択してください
	【中項目】対策内容	
	【小項目】対策メニュー	

令和4年度 耳川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

九州電力株式会社	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流水の貯留機能の拡大
	【小項目】対策メニュー	事前放流の実施

令和4年9月台風14号における事前放流対応実績一覧表

ダム	基準降雨量 (降雨継続時間)	事前放流			
		実施態勢入り	事前放流開始	事前放流終了	実施態勢解除
上椎葉	184mm (6h)	15日 10時21分	17日 8時00分	18日 13時10分	20日 10時23分
岩屋戸	181mm (6h)		16日 10時20分	16日 14時50分	
塚原	249mm (9h)		16日 2時00分	18日 11時50分	
諸塚	211mm (6h)		16日 10時00分	16日 14時00分	
山須原	306mm (12h)		16日 13時00分	16日 13時30分	
西郷	311mm (12h)		15日 20時00分	18日 12時30分	
大内原	314mm (12h)		15日 20時00分	18日 13時50分	

所属名を記載	【大項目】区分	プルダウンで選択してください
	【中項目】対策内容	
	【小項目】対策メニュー	

令和 4 年度 その他水系流域治水プロジェクト フォローアップ

宮崎地方気象台	【大項目】区分	3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	水災害リスク情報の提供・充実
	【小項目】対策メニュー	防災気象情報にかかる勉強会

○ コロナ禍の中、自治体担当者への防災気象情報の利用普及に関する機会が減ったため、理解を深めていただくための取組みとしてオンラインツールを活用した勉強会を月2回程度（出水期を除く）実施している。



- オンラインツールを活用した勉強会は、参加者にとっては移動時間がなく有効に時間を使えるため効果的である。
- 効果的な支援に向けた課題：質問しやすい環境づくりやポイントを絞った説明資料づくり、また、ピクシブ的な内容を盛り込むなどの工夫が必要。

宮崎地方気象台	【大項目】区分	3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	水災害リスク情報の提供・充実
	【小項目】対策メニュー	台風説明会等の実施

概要

○ 気象台では、大雨や台風接近時には、メールやホットラインにより注意・警戒を呼び掛けるほか、台風説明会（報道向け・自治体関係者向け）を実施している。



効果

- 早い段階からの情報提供により、体制判断や避難所の開設判断等に活用できる。
- 危機感や防災意識が高まる。



関係者からは、避難情報の発令や避難所開設の判断を行う上で非常に有益であったと声をいただく一方で・・・

課題

- 予測精度の問題もあるが、
 - ・段階的な解説
 - ・解説内容の工夫
 - ・過去事例の引用



など危機感を高めるためのさらなる改善が必要

令和 4 年度 その他水系流域治水プロジェクト フォローアップ

東白杵農林振興局	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流出抑制対策
	【小項目】対策メニュー	防災ダムの維持保守



【概要】
 防災ダムは、鳴子川流域の洪水氾濫による農地、農業用施設およびその他公共施設の被害防止を目的に昭和46年度設置。

令和4年度 雨量計、水位計等の改修

【効果等】
 降雨時に洪水調節を行うことで、下流地域の洪水被害を未然に防止できた。

東白杵農林振興局	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	農業用ため池の整備



【概要】
 防災重点ため池である長谷ため池において、実施設計とボーリング調査を実施。

【目的】
 ため池直下の宅地や農地及び農業用施設の被害を未然に防止し、貯水機能の向上を目指す。

【効果等】
 次年度の耐震化工事に向け、円滑な発注計画を策定することができた。

令和 4 年度 その他水系流域治水プロジェクト フォローアップ

東白杵農林振興局 (地域活動組織)	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	多面的機能支払制度等の活用



【概要】
 農業・農村の多面的な機能の維持・発揮を図るため、水路の草刈り・土砂上げ・補修や、遊休農地の解消などの地域活動(53組織)を支援した。

【目的】
 水路の適正な管理や、遊休農地の発生防止対策等で農地保全を図り、農地の持つ雨水貯留機能の発揮を目指す。

【効果等】
 上記活動により、農地として利用され、雨水貯留機能を維持することができた。
 また、地域住民と一体となった活動により、農地・農業用施設の持つ役割を、広く周知することができた。

所属名を記載	【大項目】区分	プルダウンで選択してください
	【中項目】対策内容	
	【小項目】対策メニュー	

令和 4 年度 その他水系流域治水プロジェクト フォローアップ

日向市建設課	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	洪水氾濫対策
	【小項目】対策メニュー	河道に支障となる草木や堆積土砂等の撤去

○河川パトロールにおいて、河道に支障となる草木等があれば、水災害のリスクを未然に防ぐため、撤去を行う。

【実施河川】 ▼普通河川 山の田川

▼着手前

▼完了



日向市建設課	【大項目】区分	3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	土地の水災害リスク情報の充実
	【小項目】対策メニュー	河川パトロールによる水災害リスク情報の把握

○普通河川のパトロールについては、水災害によるリスクの軽減を図り、情報を把握するため、年 1 回の通常点検、異常気象時や全国的な課題や国・県からの指導等に応じて実施する緊急点検を行っている。

普通河川点検内容一覧

ランク	本数	延長 (km)	点検方法	
			頻度	時期
A(重要)	43	71.9	年 1 回	出水期前 (5 月下旬～6 月上旬)
B(準重要)	40	50.8	年 1 回	台風接近時期前 (6 月～8 月)
C(その他)	38	66.2	年 1 回	年間を通じて (9 月～3 月)
計	121	188.9		

【対象河川】 ▼日向市内その他水系の普通河川 (庄手川ほか)



令和4年度 その他水系流域治水プロジェクト フォローアップ

宮崎県 【砂防課】	【大項目】区分	3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	防災学習・啓発の推進
	【小項目】対策メニュー	地域における防災学習の実施



【概要】

土砂災害に関するソフト対策として、土砂災害防止講座やパネル展を実施した。講座では、宮崎県砂防ボランティア協会の職員を講師として派遣し、住民や自治会長を対象に土砂災害の危険性を周知した。パネル展では、土砂災害の前兆現象や土砂災害危険度情報等の防災情報、宮崎県や全国で発生した土砂災害の情報を掲示し危険性を周知した。

【目的】

災害時に住民の方々が的確に行動できるよう、防災知識の普及及び防災意識の啓発を図る。

【効果等】

土砂災害の危険性や大雨の際に発表される情報、地域の特徴を学ぶ機会を増やすことで、防災意識の向上が期待できる。また、「自助・共助」の強化による一層の地域防災力の向上が図られる。



宮崎県 【危機管理課】	【大項目】区分	3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	防災学習・啓発の推進
	【小項目】対策メニュー	防災の日、防災週間における防災啓発



(防災の日オンラインセミナー)

防災の日や防災週間において、防災啓発を実施した。

- 自助・共助への意識向上のため、テレビ、ラジオCM、ポスター、チラシ等により風水害への備えについて、啓発を実施
- 小中学生向けオンラインセミナーを開催
- 啓発動画（クイズ防災ゼミナール）を作成し、YouTubeに掲載



(クイズ防災ゼミナール)



令和 4 年度 その他水系流域治水プロジェクト フォローアップ

森林整備センター	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	水源林造成事業

・水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業です。

・水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。

令和4年度実績				
植栽	下刈り	除伐	間伐	作業道
20ha	30ha	9ha	32ha	



所属名を記載	【大項目】区分	プルダウンで選択してください
	【中項目】対策内容	
	【小項目】対策メニュー	